

【編集・発行】

特定非営利活動法人

あだち学習支援ボランティア「楽学の会」

【事務所】 早坂 津夜子 方

〒120-0001 足立区大谷田3-1-15-203

ホームページ <http://gakugaku.main.jp/>

## 平成25年度あだち区民大学塾 第3ステージ開催報告

### うんちく！大江戸入門講座3「浮世絵で知る江戸の魅力」



第1回大沢講師



第2回堀口講師



第3回浅草現地学習

今回も講師に大沢正明氏、ホーリーこと堀口茉純氏をお招きして11月2、9、16日の3日間実施、延べ93名が参

加した。1、2日目は座学、大沢氏の「浮世絵の誕生と歴史」堀口氏の「その謎解きと江戸の魅力」3日目は現地学習「浮世絵から学ぶ浅草の魅力」だった。座学では講師の特徴が出て、やや硬い内容と少し砕けて分かり易い語り口で、絵巻・役者絵・風刺画・歴史画等を描いた浮世絵を題材にして江戸の魅力に迫った。

現地学習は29名が参加、2班に分かれ、好天に恵まれた浅草の街を色刷り資料と実際の景色に合わせた説明を聞きながら約2時間半に亘る散策になった。

座学でのアンケートを23人、現地学習での一口メモを24名からいただいた。

- 良かった、楽しかった、勉強になった
  - 浮世絵の見方がわかり参考になった
  - 現地見学が良かった
  - 的確な内容説明で楽しく受講できた
  - 大沢先生、堀口先生も魅力的で知識の幅広さに感動した
  - 江戸の魅力が益々楽しみになった
- など今回の講座に満足したという意見が多く見られた。(鹿島健一)

### ワインの楽しみ方セミナー



11月13、20日(水)午後2時30分～4時30分 羽鳥敏彦氏(アサヒビール(株)お客様相談室プロデューサー)を迎えて開催された。受講者は延べ124名が参加しました。世の中で親しまれているワインですが、今

回講座ではワインの種類、作り方から世界各地のワインの特長を解説いただきました。ワインはその産地によりその地方の気候や土地の味となります。有名なフランス、イタリア、ドイツワインに加えてニューワールドのワイン(スペイン、アメリカ、オーストラリア、チリ他)も脚光を浴びています。ワインをおいしく飲むための知識や料理とワインの組合せも解説いただき大変有意義でした。

最後に世界各地のワインを試飲しました。参加者からは「大変ためになった」「楽しかった」との意見が多くまた講師への質問も多く楽しい講座となりました。(福田哲郎)

## 11 月例会報告

### 「個人と社会を豊かにする生涯学習種目の開発と事業化」(11/14)



今月は、当会顧問・崎山みゆき氏（静岡大学大学院客員教授）をお迎えしました。教授には、現在の当事業内容に照らした新たな提案として、タイトルの課題でお話がありました。更に後半は、「新しい学習種目の構築とその可能性」を軸に、事業の定着がマンネリ化を引き起こす警鐘を鳴らしながら、「ジェロントロジー教育※」に関する助成事業を事例に、新しい分野（種目）の開発を説かれました。会員からは「今まで考えたことが無かった、新鮮だ」「理解するには、もう少し時間がほしい」などの意見が出されました。



考えてみれば日本は既に高齢社会であり、会員の多くは、その真っ只中で活動しているわけで、そんなに難しく捉えることもないのではないかと。事業として、そこを掘り起こしていただけないだけではないだろうか。教授の研究テーマを当会の活動に役立ててほしいという深い想いに、感謝申し上げたいと思います。多様な可能性を追求しながら、実践の場に活かせるか、時間をかけて検討したいと考えた月例会でした。

（早坂津夜子）

※日本語で「老年学」「老人学」と訳されています。高齢者を正しく理解するための学習。

### 第16回ボランティア学習学会 in Tokyo(11/23・24)

会場：順天中学・高等学校王子キャンパス



当会顧問・興梠教授が代表理事を務められる学会に参加しました。今年度は「グローバル社会に育む生きる力」をテーマに、グローバル社会の学びとボランティア学習の可能性を追求した「シンポジウム」、24日は4分科会で学習、多様な視点であらたな可能性を見出していく試みは、全国から参集された方々によって、実践の場で掘り下げられることと思います。特に、ボランティア学習の優れた実践・研究を行った団体・個人を表彰する「アレック・ディクソン賞」を受賞された、香川県立志度高等学校の実践に賛辞を送りたい。（参加者：安田善英、早坂津夜子記）



## 学びのエリア再発見～「駅シリーズ」 第15回…小台地域(その1)

東京都交通局 日暮里・舎人ライナー



日暮里・舎人ライナー 日暮里駅

平成 23 年 7 月から開始した本シリーズも区民の長年の念願がかなって開通をみた本路線で完結となる。日暮里・舎人ライナーは荒川区の日暮里駅と足立区見沼代親水公園 13 駅を結ぶ路線 9.7km。案内軌条式鉄道（新交通システム）である。駅周辺探訪に先立ち都交通局・日暮里・舎人営業所（西日暮里 2-19-2）駅務区長を 11 月 18 日に訪問。早朝にもかかわらず駅務区長が開設の経緯・現在の状況・ライナーの特徴など快く応答してくれた。主な内容は次の通りである。

開設の経緯は、それまでバス路線のみに頼っていた都道 11 号尾久橋通りの渋滞解消と更なる利便を求めて住民の交通機関の建設要望が長年にわたって出されていた地域であったが、昭和 60 年運輸政策審議会答申第 7 号新交通システムとして承認。翌年、都長期計画事業で尾久橋通りの高架路線（軌条交通方式）として位置付けられた。工事着工平成 9 年 12 月、開業 20 年 3 月 30 日。既に 5 年を経過している。沿線の方々の喜びは大変なものであったことがうかがえる。開業以来利用者は右肩上がりであり、現在の一日当たり乗客数は約 63,000 人。それに応えて、利便を図り朝 13 本運行、約 4 分間隔の運行がされている。車両は 5 両編成で約 240 人が定員であるがラッシュ時には是を超える乗客数になるという。利用者増加対策として始発時間を早め、終電を遅くするなどの対処をしているが、駅の構造その他により 5 両編成より長くする事は難しい。また、車両基地（85 両収容、待機、保守点検、修理）は都立舎人公園内地下にあるが、電流など危険が伴うので見学は不可である。

終電後に保守点検車が全線を運行し安全確保に努めている。コンピュータ制御の無人運転であるがトラブル発生時に備えて、社員が詰めていて宿泊待機・非常時の対応マニュアルも完備されている。

沿線のイベント「舎人公園の千本桜」「あだちの花火」を実施している。なんといってもこのライナーのお勧めは景色の良いことである。地上の高い所を走っているの、秩父連山・スカイツリー・時には富士山も見えるという。

区長の的確な応答と社員の方々の緊張感に満ちた雰囲気営業所を辞して「足立小台駅」に向かった。

### 1. 足立小台駅 住所 小台 1-20-1 TEL03-5837-2635（無人システムなのですべて日暮里駅につながる）



足立小台駅

一日の平均乗降者数は乗車 1,593 人降車 1,573 人である。始発駅日暮里から 4 番目の駅であり足立区はじめの駅で続く 9 駅はすべて足立区の駅である。軌条式鉄道という、まさに足立区鉄道の「あけぼの」といっても過言ではない。日暮里駅から取材陣は先頭車両にこどものように乗車する。視界は開け高架で走るので駅務区長さんの言うように抜群の景色だ。足立小台駅は青のシンボルカラーでラインが引かれている。小台の地名の由来は定かではないが、律令国

から「小さい台地」という意味で「小台」と呼ばれたという。そして、荒川放水路と隅田川に囲まれた東西に細長い町域は広大ではないが、現在も足立区最大の工場集積地帯で工場と住宅が混在している町である。

2. 小台橋 駅を出て隅田川沿いの歩道を行くとグリーン橋が見える。架橋前は付近に「小台の渡し（尾久の渡しとも称される）」があり、江戸時代より江北・西新井・草加方面への交通の要所として賑わっていた。また、西新井大師や六阿弥陀のひとつである沼田の恵明寺に詣でる人も利用した。江戸期は両岸の農民が半月交代で渡していたという。明治期以降は東京府が運営していたが、交通量の増加に伴い 1933（昭和 8）年関東大震災後の都市復興計画に基づいて架橋され後に渡しは廃止された。老朽化により 1992（平成 4）

年に架け替えられた。隅田川・荒川放水路の二大河川に囲まれたこの地には 40 数箇所の渡し場があったという。渡船業が盛んであり、舟運を活かして近代工業をになう土地となった。小台橋袂のタバコ屋の方が「渡し舟があったであろう」ことを語ってくれた。橋にかかる隅田川を眺め、当時を偲び沿岸に住む人々に思いを馳せて次の取材地に向かった。（一部フリー百科事典『ウイキペディア』・ブックレット江北地区参照）  
（安藤、岡田、加藤、神戸、今野、酒井、佐久間、田中（国）田中（桂））



現在の小台橋



小台の渡し（大正 12 年版）足立区立郷土博物館所蔵

## 生涯学習センター講座 運営ボランティア参加報告

### NHK「印象派を超えて、点描家の画家たち」関連文化講演会



11 月 2 日（土）、講堂に米田尚輝氏を講師に迎え、177 名の受講者を前に講座が開催されました。開始当初は、あまり絵画を見せずに解説されたので良く解らないところがあった。後半は、絵画を多く紹介されてそれに合わせて、色彩の科学性などの用語を解説され幾分か解り易くなった。分割主義者の形を繋げる意図など知らないことが多かったので、絵を見ながら解釈は多様



であると思った。解説を聞いて今日の受講者の絵に対する好みが大きく分かれるだろうなと感じました。でも、受講者の多くは笑顔で退出しました。（安田善英）

#### 楽学の会各部局間の情報交換、親睦会のご案内

日 時 平成 25 年 12 月 18 日（水）午後 6 時～

会 場 「楽」（らく）足立区綾瀬 6-5-7

電話：03-3628-0080

会 費 3 千円（当日申し受けます。）

申 込 電話・FAX：03-5813-3759

メール：t3436s@yahoo.co.jp（ボラ活部・齋藤事務局内掲示板申込書記入）

締 切 平成 25 年 12 月 16 日（月）まで

※ 各部局の活動で楽しかったことや次年度に繋ぎたい展望、意欲等を語り合いながらの交流です皆様の参加をお待ちしています。

（ボランティア活動推進部）

#### 府中市生涯学習ボランティア「悠学の会」との交流会参加募集

日 時 平成 26 年 1 月 22 日（水）  
午後 1 時 30 分～

場 所 府中市生涯学習センター

（府中市浅間町 1-7 042-336-5700）

集合場所 京王線〈新宿発〉東府中駅 改札出口  
（午後 1 時集合）

アクセス 京王線 東府中駅下車 府中市コミュニティバス「ちゅうバス」府中駅行き乗車「生涯学習センター」下車

申 込 先 事務局 電話・FAX 03-5813-3759

メール t3436s@yahoo.co.jp（ボラ活部・齋藤）

締 切 平成 26 年 1 月 17 日〈金〉まで

（ボランティア活動推進部）

## 運営委員会だより

平成 25 年 11 月運営委員会は 11 月 1 日(金)に開催。議事録を基に報告する。

### 1. 早坂代表の報告及び提案

- ・あだちサークルフェアの参加、講座開催と台風の影響の対応など無事終えることができた。
- ・大学塾講座運営における災害対応のマニュアル化について(台風 26 号事例参考)講師都合等広範的事例への対応を考える。

※共催事業なのでセンターと協議の上で検討する。

### 2. 議事

#### (1) 情報交換

- ・NPO フェスティバル反省会 10/24 開催。
- ・「社会教育」11月号 瀬沼顧問記事掲載。
- ・第 16 回日本ボランティア学習学会 in Tokyo(興梠顧問)11/23、24 北区王子にて開催。参加希望者は事務局まで

#### (2) 25 年度中間報告について

- ・各部局及び受託事業の中間報告(3月～9月)が、資料に基づき各セクションの長より報告された。

#### (3) 月例会開催について

- ・11/14 研 2 崎山講師 テーマ「個人と社会を豊かにする生涯学習種目の開発と事業化」

#### (4) 25 年度受託講座について

- ・「健康と安全」区報 10/25 号掲載 11/20、27、12/4 開催
- ・「仮称震災から助かるための備え」3/13、19、26 の 3 日間、開催予定

足立区危機管理室 宇田川課長、関東学院大学 若松教授、東日本大震災被災者 篠原氏

#### (5) 各部局からの報告及び提案

##### ①学習支援部

大学塾講座の毎回の終了後に、受講者・運営ボラの参加者数を講座責任者(コーディネーター)は必ず記入をお願いする。

##### ②ボランティア活動推進部

「大学塾事務局当番」について、会員の積極的参加をお願いする。部会等が開催される日は、当該部局で当番を行ってほしい。

##### ③広報部

2色刷り開始、A3版ニュース制作のマニュアル化して標準化を図る。

HP: 11/1 更新、12/1 更新予定。

メルマガ: 11/1 更新、12/1 更新予定

Jimdo の件(新会員ページ等)会員ページのひな形。研修要。

#### ④事務局

ニュース発送 12 月 27 日

#### (7) その他

パソコン教室 神戸講師により 10 月 29、11 月 6 日 2 回 午後 2 時～4 時 ワークルームで開催。

以上

## パソコン講習

### 「メモ帳を活用しよう」を実施

10 月 29 日と 11 月 6 日にパソコン講習を開いた。受講者は延べ 8 名、ワークルームで午後 2 時から 4 時まで。講師は神戸会員。

テーマは『メモ帳を活用しよう』で、文章作りは何でもワードでと思っている人たちに、MS ワードの問題点を説明し、メモ帳の便利さ、ワードとメモ帳の使い分けを理解してもらった。



最近ではメモ帳の存在を知らない方が多いが、Windows 初期から付属するワープロソフトの原型である。動作が

軽く文章だけに集中できるソフトで、各種の書式情報がないので文章のベタ打ちやネットからの資料作成に便利である。

今回は受講者各人に 1 台パソコンがあって、実際に操作してメモ帳の機能を体験した。なお講習の後半に「確実なファイル名の付け方」と「メールのエチケット」を付け加えた。(神戸明)



## 生涯学習センターボランティア情報

今月の生涯学習センター講座運営ボランティア募集はありません。(ボランティア活動推進部)

### <生涯学習センター講座情報>

**講座名：介護と仕事の両立のための知識・技術・心構え**

日 時：1月10・24 毎(金) 全3回  
午後1:30～3:00

場 所：生涯学習センター 5階 研修室1

受講料：2,100円(一般の方)、70歳以上・障がい者：1,470円(要証明書提示)

保険料：10円

定 員：親又は祖父母が60歳の世代の方、30人

内 容：家庭状況を把握し、体の負担にならない移乗のコツ、実技スキル、介護と仕事の両立の仕方を学ぶ。

講 師：東京海上日動ベターライフサービス講師

**講座名：認知症サポーター養成講座**

日 時：1月17日 金曜日 午後2時～4時

場 所：生涯学習センター 5階 研修室4

受講料：無料

定 員：16歳以上、30人

内 容：認知症とは、その治療法は。その実態を理解するとともに、地域で認知症サポーターとして活動していただけるようその基本的な知識を学びます。

講 師：大川道子(地域包括支援センター日の出)

**申し込みは、生涯学習センターへ**

**電話(03-5813-3730)または直接窓口**

### 2014年 1月月例会は 新年会!

楽学の会「新年会」を下記のとおり開催します。皆さん、新年会に積極的に参加しましょう。

日頃からご支援を頂いております顧問の方々、後援会員、賛助会員の皆様方も是非ご参加下さいますようご案内申し上げます。

日 時 平成26年1月15日(水) 午後6時～

場 所 足立区生涯学習センター  
7階レストラン「さくら」

参加費 3,000円

(当日キャンセル不可。事前連絡なく欠席した人は、全額負担とさせていただきます。)

申 込 メール 齋藤：t3436s@yahoo.co.jp

FAX 03-5813-3759(ワークルーム)

事務局内掲示板にも申込記入案内

締 切 1月10日(金)

(申込後、欠席する方は事前に連絡して下さい。)

(ボランティア活動推進部)

## 楽学インフォメーション 会合のお知らせ

○運営委員会

12月 2日(月) 午後3時～5時 研修室4

○月例会(親睦会)

12月18日(水) 午後6時～

○学習支援部

12月18日(水) 午後2時～ ワークルーム

○ボランティア活動推進部

12月10日(火) 午後2時～4時 ワークルーム

○広報部

12月 6日(金) 午後2時～4時 ワークルーム

12月26日(木) 午後1時～4時 ワークルーム

○事務局

12月 3日(火) 午後2時半～(ニュース発送)

12月10日(火) 午後2時～ ワークルーム

12月27日(金) 午後1時～(ニュース発送)

○大学塾講座検討会議

12月18日(水) 午後3時～午後4時半 研修室2

○大学塾企画会議

12月 2日(月) 午後1時半～3時 研修室4

○ホームページ企画会議

12月は月末の更新作業とします。

### お問い合わせ&ご意見等

○「楽学の会」の運営に関するお問合せ

事務局 江川武男 電話:03-3898-1542

E-Mail: takeo-wg@cj9.so-net.ne.jp

○「ホームページ」に関するお問合せ

広報部 田中国弘 電話:03-3856-9290

E-Mail: ku-tanaka@asahi.email.ne.jp

### ホームページ・メルマガからのお知らせ

- ・大学塾開催講座を会のHPで知った人も徐々に多くなっている様です。例えば有る講座ではチラシ20%、HP16%でした。今後もPRお願いします。
- ・メルマガは引き続き発行します。今後も、講座受講者やお知り合いへの登録勧誘をお願い致します。

### 編集後記

今年も残すところひと月となった。

日本を含む世界各地で記録的異常気象による多大な犠牲が生じた年である。

恵まれた環境で活動が続けられることに感謝する。本年の反省と来るべき年に新たな構想を模索する時期でもある。

会員の更なる活躍を期待し健康を祈り本号をお届けする。

(安藤寿)